

入場無料

市民公開講座

がんのあたらしい治療 核医学を使う



日時

平成22年10月23日(土) 13:00~

場所

埼玉医科大学
かわごえクリニックビル大会議室



ご案内

核医学は日本ではまだなじみの薄い医学分野ですが、世界中で行われている医療で、我が国の核医学のレベルは高いです。核医学とは放射性同位元素の医学・医療への応用を研究・実践する医学分野で、医薬品や機器の開発、治療への応用、および、診断への応用を行っています。

最近、基礎医学の進歩により、がんの治療に新しい治療薬が使える様になりました。核医学でもこのような薬が使用できる状況となり、我が国でも徐々に使用が広がっています。

また、バセドウ病や甲状腺がんの治療では古くから核医学による治療が行われてきましたが、法令の整備により最近みなおされ、利用が増加しています。

この市民公開講座では、核医学全般についての解説と、核医学によるがんの治療をご紹介します。



—共催—



医療新時代の核になる 日本核医学会
埼玉医科大学

プログラム

司会：埼玉医科大学総合医療センター放射線科 長田 久人

<13:00～13:05> 開会の辞

<13:05～13:20>

① 核医学とはなにか

埼玉医科大学総合医療センター放射線科 教授 本田 憲業

<13:20～13:40>

② 体に優しい核医学検査 (20分)

東京女子医科大学核医学 副技師長 金谷 信一

<13:40～13:50> 休憩 10分

<13:50～14:20>

③ 甲状腺癌の放射性ヨード治療 (30分)

東京女子医科大学名誉教授 日下部 きよ子

<14:20～14:50>

④ 悪性リンパ腫の新しい治療：イットリウム標識抗体治療 (30分)

群馬大学大学院 教授 遠藤 啓吾

<14:50～15:00> 休憩 10分

<15:00～15:30>

⑤ 癌の痛みを和らげるストロンチウム治療 (30分)

埼玉医科大学国際医療センター核医学科 准教授 久慈 一英



<受講料> 無料

<交通案内>

- 東武東上線、JR埼京線、川越線「川越駅(西口)」徒歩2分
- 西武新宿線「本川越駅」徒歩12分



医療新時代の核になる
日本核医学会